

文化活動・交流の拠点

ふれあい倉庫「赤れんが6号」

## ■ ふれあい倉庫イベント情報

【多目的ホール】

### 高橋哲夫絵画展

日時 7月2日(水)～6日(日)  
10時～18時(最終日は15時まで)

詳細 高橋(☎22-1255)

### 木工房のねこたち展

日時 7月12日(土)～21日(月祝)10時～17時  
詳細 小林(☎22-0136)



ふれあい倉庫に設置されている涼しげなタペストリーは、スウェーデンヒルズの菅美恵子さんの作品です。

## ★夏のふれあい朝市を開催★

- ◆日時 7月19日(土)9時～11時
- ◆地場産品コーナー とれたて野菜が勢揃い!!
  - ・当別自慢の加工品が登場
- ◆多目的ホール 海の幸も取り揃えます。  
詳しくは、新聞チラシをご覧ください。
- ▼問合せ ふれあい倉庫(☎27-6600)

## 利用方法は多種多様に！昨年度は4万人が入館

昨年6月のふれあい倉庫グランドオープンから1年が経過し、昨年度の施設利用者や入場者は13,809人、直売コーナーの購買者数は26,948人となり4万人を超える方々に足を運んでいただきました。

ふれあい倉庫では、文化的利用のみに留まらない、各種団体の持ち味を活かした様々なイベントが開催されています。

団体でも個人でも利用することができ、施設利用のないときは施設見学もできますので、発表の場をお探しの方は、是非、足を運んでください。

続

## 町長の日記

平成20年6月17日(火)

6月は町政懇談会が続く晩が多かったが、相変わらず朝は3時半頃目が醒めるので、パソコンを少しいじって朝刊を待ち、その後スカッとした空気が欲しくて、ぶらっと出歩く事がある。

今朝は、家の近くの基線川の草刈が終わってさっぱりしたので川沿いに土地改良区が造った「めだかの広場」に行ってみた。

曲線の石段がなかなか良い感じの広場に、当別短歌会の方々の農業や農村を詠んだ短歌がボードに書かれ、ずらっと掲示板のように並んでいて、一首ずつ読んで歩くと楽しい。

この時期は毎年、防風林の新緑がボードの短歌に爽やかな風をそそいで、まるで新しい作品のように感じる。

「めだかの広場」と名付けた時、川のふちなので、めだかのように人々が三々五々に集まってくれるように願ったのですが、最近は何人も集まっている様子でもないが、中学生が何人かは、木漏れ陽の射す短歌の前を通っているらしい。

今日、私がそこに近づいた時、突然、大きなサギが一羽ゆうゆうと飛び立って行った。

あれは・・・？開拓時代の鬱蒼とした原始の林を偲ばし四季によって装いを変えるこの蒼い防風林を想い歌集に「蒼林」と題命を付けられた主宰者の故福島龍緒先生の化身だったのだろうか・・・と思った。

今月の始め、早朝に青山の親しい友人のお宅を訪ねた時、30～40羽の鳩の群れが農家の屋敷を大回りに堂々と飛んでいる光景を見て感動した。

山間の道を当別川なりにダムへ向って行く景色はまるで日本の原風景の屏風絵の中にあるような気持ちになった。

お宅にお邪魔した時、奥様が「若い時は働き尽くめだったけど主人がレース用の鳩を飼ってくれて、今は毎日鳩に癒され、とても幸せなんです」とおっしゃりながら、良く懐いた大きな猫に毛ブラシをかけておられる姿は、御一家の幸福を物語っていた。

朝刊には暗いニュースが続いているが、この町には楽しくて美しい風景が沢山ある。当然別天地

当別町長 泉亭俊孝